ポーランドの国際会議における ホスピタルアートの発表と実践 報告書 2019年6月7日-12日





ディスカッション。

●6月7日

Mazowieckie Specjalistyczne Centrum Zdrowia / Pruszków

ワルシャワ郊外にある歴史ある大型精神病院でHappy Doll Projectを開催しました。患者さんのほか、病院に所属する芸術療法士、芸術療法を学ぶ学生など約30名が参加。患者さんの写真がご紹介できず残念でなりませんが、芸術療法士の皆さんと一緒に楽しそうに制作に没頭し、素晴らしい作品を完成させると穏やかで誇らしい笑顔に包まれていました。(本プログラムはく日本・ポーランド国交樹立100周年事業>の認定を受けて開催されました。)









病院内にある芸術療法のための棟。アトリエやシアターなど、充実した施設に驚かされる。







精神病棟の中にも、患 者さんの作品が壁一面 に飾られている。





1891年に建てられた900床の大型病院。広大な敷地内には、症状別の病棟から、教会や幼稚園、商店、墓地から刑務所まで併設されている。

●6月10-12日

"JIKIHITSU" SYGNATURA ARTYSTY/Warszawa

ワルシャワにある芸術大学Akademia Pedagogiki Specjalnejの招致により、日本ポーランド国交樹立100周年を記念して開催された国際会議に高橋が出席しました。"直筆"(現代ポーランド美術における日本の伝統の存在)と題された会議では、3日間にわたり日本とポーランド両国のアーティストや学者による発表が行われました。

















高橋の講演。"From the field of Hospital Art, and irreplaceable activities with Polish artists: Józef Wilkoń" ホスピタルアートの活動紹介とともに、その取り組みを通じたポーランドのアーティストとの深い関わりを発表した。



















●6月8日

Józef Wilkoń氏を訪ねて

05年に子どものワークショップやホスピタルアートのゲストアーティストとして招聘し、06年にはうわら美術館、07年には福井県立美術館で展覧会を開催し、深い親交を築いてきた国民的絵本作家のヨゼフ・ウィルコンさん。「日本での体験は素晴らしいものだった」と語るウィルコンさんと、その作品世界が広がる森の中のアトリエ兼ご自宅で感動的な再会を果たしました。

